

7911 「あのなア、あの人はいったいどういう人なんじゃ？」

「あのなア、あの人はいったいどういう人なんじゃ？」

食事をしている間はなごやかにレイ子と談笑していた母親だが、何だか陰険な目つきになって声をひそめている。

「どういう人って？」

「歳はあんたより上じゃろうが」

「そうだけど……」

「親御さんはどないな人なんじゃ」

「親はないみたいなもんだ」

僕は簡単にレイ子の家庭の事情を説明した。

「ふーん、そんなふうなら先方の親御さんから文句がでることはなかろうが、うちのお父さんがどう言いなさるかが問題じゃ」

「問題って？」

「お父さんはええ顔しなさらんよ。まあ、折を見て私から話をしたげるけど……。うちは田舎でも名家じゃから、事情のある家の、それも年上の女と結婚するちゅうのはなア……」

「結婚？」

「そりや結婚せんわけにやいかんじゃろう。いっしょに暮らしどるんじゃから」  
今まで“結婚”などということは考えたこともなかった。

三田誠広『僕って何』

[許容訳例]

“Here, what kind of person is she?”

While we were having dinner, my mother had chatted amiably with Reiko, but now she had a crafty look and she spoke in a low voice.

“What do you mean?”

“She's older than you, isn't she?”

“Well, yes, but……”

“What are her parents like?”

“It's the same as if she didn't have any.”

I explained her family situation simply.

“Well then, in that case we don't have to fear complain from her parents, but what will your father say. That's the problem.”

“Problem?”

“He won't be pleased. Even so, I'll have a talk with him at some convenient time……. Though we may live in the country, we're a good family. But you want to marry a woman whose family has problems. Moreover, she's older than you……”

“Marry?”

“Of course, you have to marry her—you’re living with her.”

I had never even thought of marriage until then.

[翻訳例]

“Here.” During the meal, my mother had been chatting amiably with Reiko, but now her eyes were somehow crafty, and she spoke in a low voice. “Just what kind of woman is she?”

“What do you mean, ‘What kind’?”

“She’s older than you, of course?”

“Well, yes, but….”

“What are her parents like?”

“She doesn’t have any—to all intents and purposes, that is.”

I explained briefly Reiko’s family situation.

“I see, well in that case her parents aren’t likely to object. The question is, though, what your father will have to say.”

“Why?”

“Your father’s going to be very pleased. Either way, I’ll have a talk with him when I get the chance, but… We may live in the country, you see, but we’re an old family, and to get married into a family that’s not quite respectable, and to an older woman into the bargain….”

“Marry?”

“But you can hardly not marry her, can’t you? Seeing you’re living with her.”

Until then, the idea of marriage had never even entered my head.

■ 「あのなア、あの人はいったいどういう人なんじゃ？」(7911)

★「あのなア」は相手に注意を喚起する発言です。英語には、視覚的には look が、聴覚的には listen がありますが、ここは聴覚的な場合ですが、次の発言が疑問文なので listen は使えません。仕方がないので、ここでは here を使います。普通は Here, Tom. のように相手の名前が続くのですが、ここでは名前がわからないので Here.だけにします。特に田舎から出てきたお母さんの発言なので、いいのではないかと思われます。

★「あの人はいったいどういう人なんじゃ？」は Just what kind of woman is she? でしょう。

「いったい」の感じは just で出します。on earth は入れる場所(e.g. What on earth did you do that for?)がありません。激しい感じを表すには Whatever kind of…? もありますが、これはびっくりしたりあきれたりしたときに使うので、ここでは不適当です。

★「人」ですが、ここでは母親がレイ子という人を警戒しているような感じなので、その警戒感をだすには lady とか person とかではなく woman がいいと思います。

■食事をしている間はなごやかにレイ子と談笑していた母親だが、何だか陰険な目つきに

なって声をひそめている。(7911)

★「食事をしている間は」は while we were having dinner も可能ですが、簡潔に during the meal でいいと思います。

★「なごやかに」は amiably の他に in a friendly way も可能です。

●「連体修飾節+特定体言」(食事をしている間はなごやかにレイ子と談笑していた母親)

「食事をしている間はなごやかにレイ子と談笑していた母親」は「連体修飾節+特定体言」なので\*my mother who…と変換することはできません。こうすると、「… していなかつた母親」の存在を認めることになってしまいますからです。もし関係代名詞を使うなら「コンマ + 関係代名詞」にしなければなりませんが、ここは「なごやかにレイ子と談笑していた母親だが…」と続くので、「母親はレイ子となごやかに談笑していたのだが、…」(my mother had been chatting amiably with Reiko, but… )と、普通の「{単位情報} + 逆接(but)」に直して変換するのがいいと思われます。

★「何だか」は somehow です。

★「陰険な」は crafty とか wily がいいでしょう。insidious もありますが、これは insidious tone of voice とか insidious plan などと使うので、ここではちょっと堅い感じがします。

★「声をひそめている」→「声をひそめて言う」は spoke in low voice です。

● {単位情報} の配置

「あのなア、あの人はいったいどういう人なんじゃ?」の「あのなア」は、たぶん、普通の声で呼びかけたのだろうと思われます。「声をひそめた」のは「あの人はいったいどういう人なんじゃ?」でしょう。この音の違いを表すには、つまり、she spoke in a low voice と関連付けるには、“Here”と“Just what kind of woman is she?”とを分けないと英語では不自然になります。したがって、“Here.” During the meal, my mother had been chatting amiably with Reiko, but now her eyes were somehow crafty, and she spoke in a low voice. “Just what kind of woman is she?”とすると自然になります。

■「どういう人って?」(7911)

★これは“What do you mean?”でもよいし、“What do you mean, what kind of woman?”と付けてもよいし、また、単に“What kind of woman?”と繰り返すだけでもいいでしょう。

■「歳はあんたより上じゃろうが」(7911)

★「歳はあんたより上じゃろうが」は“She is older than you, isn’t she?”でもいいですが、単に疑問を投げかけているのではなく、自分で肯定しているので、できれば“She is older than you, of course?”としたいですね。なお、I imagine she’s older than you. も可能ですが田舎から出てきたこのお母さんの台詞としては堅すぎます。

■「そうだけど……」(7911)

★「そうだけど……」はあまり認めたくない、あるいは、あまり話題にしたくないないけどしぶしぶ認めるという感じなので“Well yes, but…”がいいでしょう。

■「親御さんはどないな人なんじゃ?」(7911)

★ 「親御さんはどないな人なんじゃ？」をそのまま英語に変換すると“What kind of people are her parents?”ですが、もう少し柔らかく“What are her parents like?”でもいいと思います。

■ 「親はないみたいなもんだ」(7911)

★ 「親はないみたいなもんだ」は It's the same as if she didn't have any.とも言えますが、「いふことはいるけどないも同然」(for practical purposes)の意味で、むずかしい表現のようですが to [for] intents (and purposes)が会話でもよく使われます。ここは「親はいるんだけどないも同然だ」ということなので、She doesn't have any—to [for] all intents and purposes, that is.のようにします。that is (to say)は「事実上」です。ただ、もう少し日本語に近い表現としては、「同然」に as good as も使えます。これは He is as good as dead. (死んだも同然)とか、"Have you finished your work?" "It's as good as finished." (終わったも同然)のように使えます。

■ 僕は簡単にレイ子の家庭の事情を説明した。(7911)

★ 「簡単に」は simply も可能ですが、briefly (手短に)の方がより適切です。

★ 「レイ子の家庭の事情」は Reiko's family situation でしょう。

★ 「説明した」は I explained (Reiko's family situation briefly)です。

■ 「ふーん、そんなふうなら先方の親御さんから文句がでることはなかろうが、うちのお父さんがどう言いなさるかが問題じゃ」(7911)

★ 「ふーん」は Well then…も可能ですが、I see, well…と続けることもできます。

★ 「そんなふうなら」は in that case でしょう。

★ 「先方の親御さんから文句がでることはなかろう」の「文句」は、ここでは「不平」(complaint)ではなく「反対」(objection)なので、Her parents aren't likely to object.あるいは We don't have to fear [worry about] an objection from her parents. くらいです。

★ 「…が、うちのお父さんがどう言いなさるかが問題じゃ」は、日本語に近い表現にすると The question is, though, what your father will have to say. でしょう。この what your father will have to say は your father will have something to say. (お父さんにも言い分がある) という感じになります。

■ 「問題って？」(7911)

★ 「問題って？」は「どうしてそれが問題になるの。問題になるはずないじゃないか」という意味なので“Why?”だけで十分です。改めて“What problem?”と問うのはナンセンスです。

■ お父さんはええ顔しなさらんよ。(7911)

★ 「ええ顔」は「顔」にこだわる必要はないと思います。要するに「喜ばない」ということですから be pleased を使えばいいでしょう。

◆ 「主語の意図に対する話し手の確信」を表す be going to…

「お父さんはええ顔しなさらんよ」は Your father won't be very pleased.とか、言外に「きっと(…だよ)」(主語の意図に対する話し手の確信)というニュアンスを含ませて Your

father's not going to be pleased.とするといいでしよう。

■まア、折を見て私から話をしたげるけど・・・・・・(7911)

★「まア」は、話題を切り替える意味のないつなぎの言葉ですから、anyhow; anyway いいでしょう。

★「折を見て」は when I get the chance が会話的でいいでしょう。at some convenient time もいいのですが、ここでは堅すぎます。

★「私から話をしたげる」の「話をしたげる」は、文字通りに変換するなら for you ですが、ちょっとオーバーな感じがします。I'll have a talk with him.とすれば、「特定の問題についてちょっと話す」(have a talk)という感じになります。ただし、I'll have a conversation with him. は駄目です。have a conversation with は「内容はどうあれ、とにかく～と話した」ということを伝えたいときに I had a conversation with him.と過去時制でよく使われる表現です。なお、「折を見て」を含ませて、I will find a chance to talk with him.も可能です。

■うちは田舎でも名家じゃから、事情のある家の、それも年上の女と結婚するちゅうのはなア・・・・・・(7911)

★「うちは田舎でも名家じゃから」は「うちは田舎に住んでいるけど名家だから」とはちょっと違います。「でも」がくせ者で、「うちは田舎に住んでいることは住んでいるけど」というニュアンスなので、we may live in the country, but…でしょう。

★「名家」は、辞書には a good family と出ています。これでもいいのですが、ここで言う「名家」は「ずっと昔からその土地に住んでいるから、その社会の中でもそれ相応の地位を得ている家族」という感じなので、We're an old family.がいいと思います。なお、Our family is well-known in the country とすると、「田舎にいる世界でも有名な家族」という意味になってしまいます。

●文構造 (なるほど・・・かもしれないが・・・だから・・・)

「うちは田舎でも名家じゃから、・・・」は「(なるほど)・・・かもしれないが、・・・だから、・・・」ですから We may live in the country, but we're an old family, and…です。

●「連体修飾節+体言」(事情のある家の女)

「事情のある家の女」は「事情のある家族の女」ということです。これは「連体修飾節(事情のある) + 普通名詞(家族の女)」の形ですから、英語では「名詞(a woman) + 関係詞節(whose family has problems)です。また、結婚は日本と同様に「家族」の結合ですから、「名詞(a family) + 関係詞節( that is not quite respectable)」とすると日本語の真意に近いと思います。また、a family with problems(<a family that has problems)とすることもできます。problem の代わりに trouble を使うなら some trouble か a bit of trouble です。troubles と複数にすると「悩み」とか「心配ごと」という意味になってしまいます。

★「それも」は「しかも」ということなので into the bargain が使えます。

★「年上の女と結婚する」は get married to an older woman です。

●文構造 (・・・するちゅうのはなア・・・・・・)

この文は「事情のある家族の、それも年上の女と結婚するちゅうのはなア……」と止めてあるので、英語でも To get married into a family that is not quite respectable and to an older woman into the bargain で止めておきましょう。ついでながら、get married の次に woman がくるときには to ですが、family が来る場合は into になります。

■「結婚？」(7911)

★「結婚？」は Marry?でもいいですが、イタリックにすれば驚いた感じをだすことができます。

■「そりゃ結婚せんわけにやいかんじやろう。いっしょに暮らしてるんじやから」(7911)

★「そりゃ」は、ここでは but ぐらいでいいでしょう。

★「…しないわけにはいかない」は can hardly not…とか can't very well not…とすれば、生き生きした会話表現になります。これらはよく会話で、たとえば、「行くと約束したんだから今更行かないと言うわけにはいかない」というような場合、I can't very well not go now. のように使います。この場合の now は「約束したんだからいまさら」という意味です。ですから、ここは But you can hardly not marry her, can't you?とか But you can't very well not marry her, can you?になります。

★「いっしょに暮らしてるんじやから」は You're living with her, aren't you?とすることもできますが、母親の発言ということを考慮すると、Seeing you're living with her がいいと思います。この see (that)…は「わかる・知っている」という意味です。

■今まで“結婚”などということは考えたこともなかった。(7911)

★「今まで」は until then です。

★「“結婚”などということは考えたこともなかった」は I had never even thought of marriage. あるいは、もう少し面白い表現を使って Until then, the idea of marriage had never even entered my head.とした方が英語らしいと思います。なお、I had never thought of my own marriage before.は駄目です。これは「将来自分も結婚するかもしれないということを考えたこともなかった」という意味になってしまいますし、I had never imagined “marriage”. は「結婚ってどんなものか想像したこともなかった」という意味で、ここでは使えません。